

新漢語水平考試 5 級問題を利用した 中国語自動学習システムの開発

加藤 宏紀／彭 国躍／松村 文芳

本研究グループでは新HSK（新漢語水平考試）5級の問題を題材とした自動学習システムを開発している。本自動学習システムは、サーバ・クライアントシステムを採用し、ネットワーク内で学習者が個々の要求に応じて、自由に中国語学習を進める環境を提供している。

新HSK5級は「聞き取り」、「読解」、「作文」の三つのパートからなり、2500語程度の単語および常用の文法をマスターしているレベルを対象としている。

現段階では、新HSK5級の「聞き取り」の問題

をモデルに自動学習を可能にするためのプログラムを作成している。本自動学習システムで重要視しているのは、丁寧な解説の提供による自律的学習のサポートである。すなわち、問題の種類、出題のねらい、重要な語彙や文法項目などについて詳しい解説を正解とともに表示し、効果的な学習を進められる環境を提供することである。

今後は「読解」と「作文」の問題の問題をモデルとするプログラムを作成すると同時に、各パートの問題をさらに増やし、さらなる中国語自動学習システムを充実させていく。
